

日本政府は核兵器禁止条約に調印し、批准することを求めます



# 岡山県原水協通信

2017年 7月17日 No.410

原水爆禁止岡山県協議会  
700-0981 岡山市北区西島田町 4-25  
TEL086-244-4526(F)805-6172  
kenmin@po5.oninet.ne.jp

## 平和行進兵庫から引き継ぎ 政府は核兵器禁止条約に調印しその批准を



2017年国民平和大行進東京—広島コースが7月16日正午に兵庫県から岡山県に引き継がれました。両県の行進団190人が参加して引継ぎ集会在備前市日生町寒河で行われました。岡山県の河重寛子代表委員は「被爆72年、うれしいニュースがありました。国連で核兵器禁止条約が採択されたことです。草の根の運動と被爆者の願いが届いたのです。政治を私物化する安倍政権を許さず、戦争する国にさせない運動と合わせ核兵器廃絶に向けて平和行進頑張りましょう」とあいさつ。兵庫の津川代表は「行進が兵庫県に入った日、国連で禁止条約が採択された。平和行進の意味が変わったと思う。行進を通じて禁止条約の意義を広めること。条約を批准する政府につくり変えることを訴えていくこと」とあいさつされました。集会後岡山県の代表132人は備前市役所を目指し炎天下の中元気に出発しました



フィリピン人のブッチさんから国際青年リレーのタスキを受け取る民青県委員長長の近藤さん。

毎年恒例となっている、「9条びげんの会」の皆さんの冷たいお茶とキャンディーの接待です。

## 田原隆雄備前市長 ヒバクシャ署名にサイン



平和行進岡山県第2日は備前市から岡山市東区までの行進です。備前市役所前での出発集会では4月の選挙で選ばれた田原隆雄市長が「平成20年に非核年宣言を行い、その立場で行政を進めてきた。北朝鮮をめぐる困難な状況もあるが皆さんの活動が平和を守る力になっている」と行進団を激励され、「ヒバクシャ国際署名」にサインをしてくださり、ペナント、募金をいただきました。また市議会橋本副議長からも激励とペナント、募金をいただきました。

行進参加者52人は瀬戸内市を經由し岡山市東区西大寺まで元気に出発しました。



行進団を激励する備前市田原隆雄市長(7/17)